

森のおくりもの7月



オカトラノオ（サクラソウ科）



梅雨入りしたとはいえ、雨の少ない日が続いています。深緑の森を歩くと、夏の昆虫たちが続々と姿を見せ始めています。不快な気分になりがちなこの季節ですが、「豪雨では困るけど適度な雨は森の生き物たちには必要なもの」と考えて、やさしい気持ちで歩いてみませんか。この季節ならではの出会いが待っているでしょう。

【写真・文 早坂 徹】

# 葉が白くなってきたよ 「マタタビ」



センターそばの木道にあるマタタビの葉っぱが白くなっています。花が咲くと、それはそれはとても良い香りがします。

## 花



■たくさん咲くので、少し離れたところからでも香りが漂ってきます。

■雌雄異株で、雄花と両性花、雌花があります。

■蕾にタマバエやアブラムシが寄生して虫こぶになったものは、「木天蓼（もくてんりょう）」という生薬で利用される

## 雄花



## 葉



■枝先の葉が白くなっています。白くなった葉の下には花はない。葉の先の方から白くなる。

■表の葉は白いのに、裏は緑色。

## 実

通常の果実



虫こぶ



■薬用酒（マタタビ酒）は、通常の果実よりも虫こぶ（マタタビミフクレフシ）になったものが薬効が高いとされる

白くなった葉をよく見ると、表は白いのに、裏は緑なのが分かります。不思議ですね。水に入れて指で押してみると空気が出てきて、押したところは少し緑色になります。中は空気の層になっていて白く見えるのですね。では、何のために葉を白くして繁み全体を目立たせているのでしょうか・・・。花の咲く時期が過ぎると、白かった葉も徐々に緑色に戻ってきますよ。

【レンジャー：黒川周子】

\*他にも葉を白くする植物に「ハンゲショウ」があります。ハンゲショウは、葉の先からではなく、葉の付根側から白くなります。





## レンジャーの森の雑記帳



雨上がりのある日のこと、園内の蝶の野原という広場で偶然にも二ホンカモシカの親子に出会いました。親子に会えたうれしさからドキドキしながら見ていると、カモシカの仔が葉を食べるのを母親カモシカと一緒に付き添って見守っているような様子です。午後の明るい陽光が母親の白銀の美しい毛並みを際立たせ、悠然と佇む姿はある種の神々しさを感じるほどでした。仔カモシカが、まだおぼつかない足取りでつまずいたり、興味を持ったものを見つけたりするのを優しく見つめる親カモシカの眼差しは母親そのものの慈愛に満ちていました。そこからさらに森の奥へと帰るときも、仔カモシカの遅いペースに合わせ、立ち止まっては後ろを振り返り待っています。まるでどこかの公園にいる仲の良い人間の親子を見ているような錯覚さえ覚えました。母の愛情を受けた仔カモシカはもしかすると、いずれこの森でまた同じように振り返りながら森の中に音もなく還っていくのかもしれない。



【レンジャー：阿部正明】

季節を感じて楽しむ

## 森の七十二候

第4回



7月は春に産卵され、卵からかえったタカの幼鳥が、飛ぶことを覚える頃です。

タカの幼鳥を狩りのできるタカに育てている鷹匠によると、タカは忍耐強く学習能力がある鳥だそうです。何度も飽きることなく練習し、狩りの失敗は次回やり方を変えて克服したりするというのです。

人間も一つのこと集中すること、失敗を繰り返さずどうしたらうまくいくか考える姿勢は、見習わなければならないところです。

生態系の頂点にいるタカが生息できる森は、健全な森と言えます。私たちのこの森も、タカが棲める森のままずっと残していきたいと思っています。



# 鷹乃学習

たかすなわち、わざをならう

7月17日から  
21日ごろ



角尾  
トビ



丸尾  
ノスリ

観察の森で見ることできるタカ科の鳥は、オオタカ、ハイタカ、トビ、ノスリの4種です。

出会える頻度が高いのはトビです。「ヒューヒョロロ」という鳴き声は聞き馴染みがあると思います。上空を見上げると、上昇気流にのり気持ちよさそうに旋回している姿を見かけます。

ノスリにも時々出会えますが、トビとの違いは尾羽で見分けるのが分かりやすいです。(下図参照)

センターでは毎年12月から3月まで、エサ台を設置し野鳥を近くで観察できるようにしています。そこに集まる小鳥を狙うハイタカやオオタカが見れることもあります。

いずれにしても野生のタカの迫力は凄いので、見れたらラッキーです。

図 トビとノスリの尾羽

【レンジャー：遠藤和子】



# 7月のイベント&お知らせ

## ◆「夜の森のかんさつ会」 7月8日(土) 19:00～20:30

- ・夜の自然観察の森を探検します。ホタルやセミの羽化が見れるかも!?
- 【定員】20名
- 【料金】無料
- 【持ち物】懐中電灯、長袖長ズボン、カップ、長靴、虫よけなど
- 【申込み】7月6日(木) 9:00から電話で[先着順]



## ◆「キッズ昆虫たんけん隊」 7月15日(土) 10:00～12:00

- ・昆虫を捕まえ、スケッチをしてじっくり観察をします。
- 【定員】小学生15名
- 【料金】無料
- 【持ち物】長袖長ズボン、帽子、カップ、飲み物
- 【申込み】7月7日(金) 9:00から電話で[先着順]



## ◆「館長と森を歩こう」 7月30日(日) 10:00～11:30

- ・自然観察センターの館長が森の昆虫や植物を楽しく解説します。
- 【定員】なし 申し込不要
- 【料金】無料
- 【持ち物】歩きやすい服装、カップ



毎週  
日曜は

### 「ガイドウォーク」の日!

### テーマ: 梅雨の雑木林

7月の開催日は

2日、9日、16日、23日、30日

開催時間: 10:00～11:30

13:30～15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

### 7月の休館日

3日 10日 18日  
24日 31日



### 森のちいさなアトリエ

準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。



### 宮城交通バスの場合

- |            |       |           |
|------------|-------|-----------|
| ① 仙台駅      | 7番のりば | 乗車時間 約40分 |
| ② 長町駅東口    | 3番のりば | 乗車時間 約30分 |
| ③ 八木山動物公園駅 | 6番のりば | 乗車時間 約10分 |
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」)  
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分



### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

### ♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、  
「森のおくりもの」バックナンバーは  
Webで!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2017年7月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: [taihakusan\\_moushikomi@sendai-green-association.jp](mailto:taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp)